

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10275025 A**

(43) Date of publication of application: **13.10.98**

(51) Int. Cl

**G06F 1/16**

(21) Application number: **09079457**

(22) Date of filing: **31.03.97**

(71) Applicant: **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**

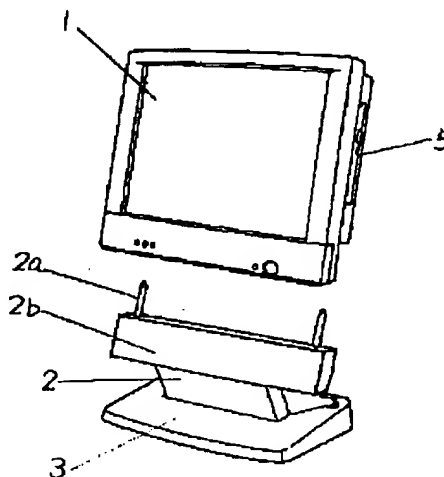
(72) Inventor: **SHISHIDA MITSUNORI**

**(54) INFORMATION PROCESSOR**

**(57) Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide the information processor which reduces its installation space on a desk and freely arrange a display part without any restriction on its installation place.

**SOLUTION:** An information processor main body is built in the same housing as a liquid crystal display device 1, a support part 2 supports the liquid crystal display device 1 detachably and rotatably, and a pedestal 3 is provided below the support part 2; when this information processor is usually used, the liquid crystal display device 1 is fitted to a connection part 2a of the support part 2 and rotated by a hinge part 2b to a good-visibility place and when even the space where the pedestal 3 is placed is eliminated or for portable use, the liquid crystal display device 1 is detached from the support part 2 and used.



COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-275025

(43) 公開日 平成10年(1998)10月13日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 1/16

識別記号

F I

G 0 6 F 1/00

3 1 2 F

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-79457

(22) 出願日 平成9年(1997)3月31日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 矢田 光紀

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

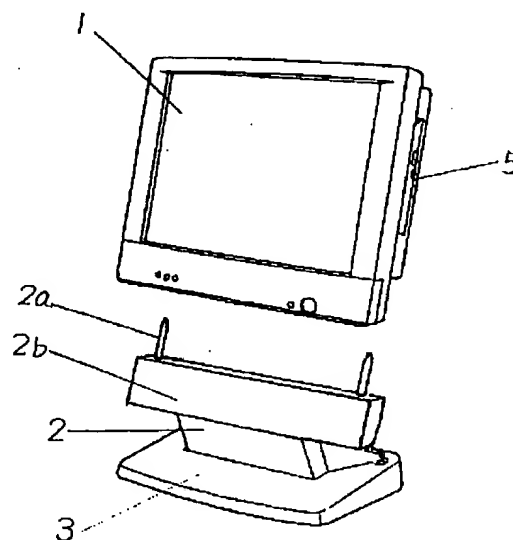
(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54) 【発明の名称】 情報処理装置

(57) 【要約】

【課題】 机上での設置スペースを少なくするとともに、設置場所に制約を受けず、自由に表示部を配置することができる情報処理装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 情報処理装置本体を液晶表示装置1と同一の筐体に内蔵するとともに、液晶表示装置1を着脱、回動可能に支持する支持部2、支持部2の下方に台座3を備え、通常使用するときには液晶表示装置1を支持部2の接続部2aに取り付け、ヒンジ部2bにより視認性のよい位置に回動し、台座3を置くスペースも取りたくない場合や、携帯型とする場合は、液晶表示装置1を支持部2から取り外して使用する。



- 1 液晶表示装置
- 2 支持部
- 2 a 接続部
- 2 b ヒンジ部
- 3 台座
- 5 CD-ROMドライブ

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 平板型表示装置と、前記平板型表示装置と同一の筐体内に蔵される情報処理装置本体と、前記平板型表示装置を回動可能に支持するとともに、前記平板型表示装置を着脱可能にした支持部と、前記支持部の下方に位置する台座とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 平板型表示装置の筐体には、記録媒体を着脱する記憶装置が備えられることを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項3】 平板型表示装置と、前記平板型表示装置と同一の筐体内に蔵される情報処理装置本体と、前記平板型表示装置を回動可能に支持する支持部と、前記支持部の下方に位置する台座と、前記台座に収納され、前記台座から着脱可能なACアダプターとを備えたことを特徴とする情報処理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はコンピューターやワードプロセッサ等の情報処理装置に関し、詳しくは、表示装置と情報処理装置本体が一体となった机上型の情報処理装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、コンピューターやワードプロセッサ等の情報処理装置において、机上に載置して使用されるものとしては、大きく分けて、表示装置と情報処理装置本体とが分離しているタイプと、表示装置と情報処理装置本体が同じ筐体で一体となっているタイプがあった。

【0003】 従来の情報処理装置について、以下、図を用いて説明する。図4は、表示装置と情報処理装置本体とが分離しているタイプで、41は情報処理装置本体、42は情報処理装置本体41にデータを入力するためのキーボード、43は情報処理装置本体41から出力されたデータを表示するためのCRTなどの表示装置である。

【0004】 情報処理装置本体41と、キーボード42および表示装置43とはケーブル（図示せず）などにより接続される。

【0005】 図5は、表示装置と情報処理装置本体が同じ筐体で一体となっているタイプで、51は情報処理装置本体部、52は表示部、53はキーボードである。

【0006】 情報処理装置本体部51とキーボード53はケーブル54で接続されるが、情報処理装置本体部51と表示部52は筐体内部で接続されることが多い。各機能は図4のものとは変わらない。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、これらの情報処理装置は以下のような問題点を有していた。

【0008】 図4および図5の情報処理装置は、机上で

の設置スペースを多く必要とし、しかも重量があり容易に移動できないため、他の作業に支障をきたしていた。

## 【0009】

【課題を解決するための手段】 本発明はこれらの課題を解決するもので、情報処理装置本体を平板型表示装置と同一の筐体内に蔵し、平板型表示装置を回動可能に支持し着脱可能にした支持部と、支持部の下方に位置する台座とを備えたものである。そして、ACアダプターを台座に収納可能にしたものである。これにより、設置スペースを取らず、また、自由に表示部を配置することができる。

## 【0010】

【発明の実施の形態】 本発明の情報処理装置では、平板型表示装置と同一の筐体に情報処理装置本体を内蔵させるようにするとともに、平板型表示装置を下方に台座を有する支持部で支持し、しかも支持部から平板型表示装置を着脱可能にしている。

【0011】 情報処理装置本体を内蔵させる表示装置は、スペースの関係から液晶などの平板型としている。

【0012】 また、平板型表示装置には、FDやCDなどの記録媒体が着脱可能な記憶装置を設けており、平板型表示装置を支持部から取り外してもコンピュータとしての機能を失うことがないようにしている。

【0013】 また、台座にはACアダプターを着脱可能に収納しており、平板型表示装置を支持部に取り付けているときには台座に収納し、平板型表示装置を支持部から取り外したときにはACアダプターも台座から取り外して使用する。

【0014】 以下、本発明の情報処理装置の実施例について、詳細に説明する。

## 【0015】

## 【実施例】

（実施例1） 図1は本発明の一実施例の情報処理装置の外観斜視図で、図1（a）は前面、図1（b）は後方から見た背面図である。また、図2は表示装置を取り外した状態を示す外観斜視図である。また、図3は台座カバーを外した状態を示す背面斜視図である。

【0016】 図1及び図2において、1は平板型の表示装置である液晶表示装置で、筐体にCPUを中心とした情報処理装置本体（図示せず）を内蔵し、筐体内部で情報処理装置本体と接続され、情報処理装置本体からのデータを表示する。2は支持部で、台座3に固定され、液晶表示装置1を取り付けるための接続部2a、および取り付けられた液晶表示装置1が回動可能になるようにヒンジ部2bを備えている。液晶表示装置1はこの接続部2aにより、支持部2から取外しが可能になっている。そして、液晶表示装置1が支持部2に取り付けられた状態では、ヒンジ部2bにより、視認性のよい角度に回動することができる。また、液晶表示装置1の筐体には情報処理装置本体に接続されるフロッピーディスク装置4

や、CD-ROMドライブ5が設けられており、液晶表示装置1の側面から記録媒体であるフロッピーディスクやCDを挿抜できるようになっている。また、6はデータを入力するためのキーボードで、液晶表示装置1内部の情報処理装置本体にケーブル7により接続されている。図3において、8は交流電圧を直流電圧に変換するACアダプターで、台座3の内部に収納されており、台座カバー9を取り外すことにより必要に応じて取り出すことができる。

【0017】通常は、液晶表示装置1は支持部2に取り付けて使用するが、例えば、机上台座3を置くスペースも取りたくない場合は、液晶表示装置1を支持部2から取り外し、壁などに掛けて使用することもできる。また、液晶表示装置1とキーボード6のみであれば、フロッピーディスク装置4や、CD-ROMドライブ5も備えているため携帯型としても使用できる。これにより、省スペースが実現でき、使用方法に自由度を持たせられる。また、外観上表示装置としか見えないため、コンピューターとしてのイメージが弱く、使用者によっては抱いていた抵抗感をなくすることもできる。

【0018】ACアダプター8は、液晶表示装置1を支持部2に取り付けている状態では、台座3に収納されており、その重量により、台座3が安定する。また、液晶表示装置1を支持部2から取り外して使用する場合に、台座カバー9を外し、台座3から取り出すことにより一緒に使用することができる。

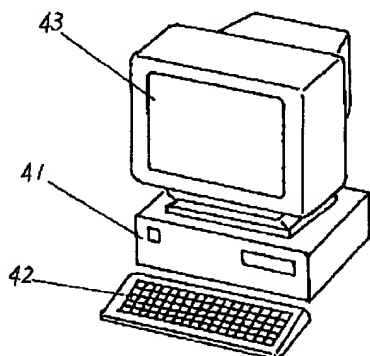
【0019】実施例では液晶表示装置としたが、平板型の表示装置であれば、例えばプラズマディスプレイなど何でもよい。

【0020】また、表示装置は、例えば入力のためのタッチパネルやマウス等を備えたものであれば、キーボードは不要になり、より設置スペースを少なくすることができる。

【0021】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実

【図4】



施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0022】情報処理装置本体を同一筐体に内蔵した平板型表示装置を、支持部で支持し、しかも取外し可能にすることによって、机上での設置スペースを大幅に減らすことができる。

【0023】そして、平板型表示装置の筐体に記録媒体が着脱可能な記憶装置も設けることにより、平板型表示装置を支持部から取り外した状態でも情報処理装置として必要な機能を達成することができる。

【0024】さらに、支持部が取り付けられる台座内にACアダプターを収納することによって、平板型表示装置を支持部に取り付けたときの設置状態が安定する。ACアダプターは必要に応じて取り出すことができ、平板型表示装置を支持部から取り外して使用するとき台座から容易に取り出して使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の情報処理装置を示す外観斜視図

【図2】本発明の一実施例の情報処理装置の表示装置を取り外した状態を示す外観斜視図

【図3】本発明の一実施例の情報処理装置の台座カバーを外した状態を示す背面斜視図

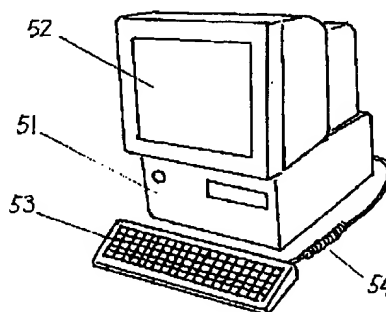
【図4】従来の情報処理装置を示す外観斜視図

【図5】従来の情報処理装置を示す外観斜視図

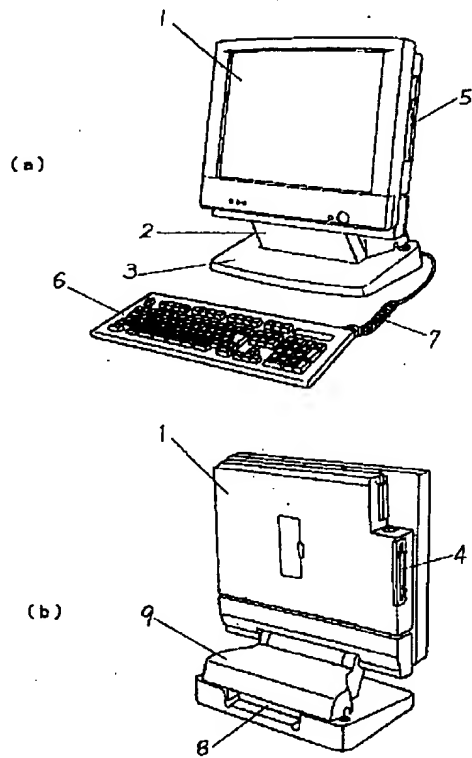
【符号の説明】

- 1 液晶表示装置
- 2 支持部
- 2 a 接続部
- 2 b ヒンジ部
- 3 台座
- 4 フロッピーディスク装置
- 5 CD-ROMドライブ
- 6 キーボード
- 8 ACアダプター
- 9 台座カバー

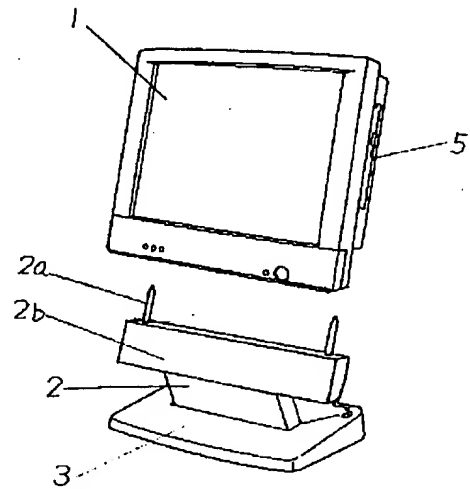
【図5】



【図1】



【図2】



- 1 液晶表示装置
- 2 支持部
- 2a 接続部
- 2b ヒンジ部
- 3 台座
- 5 CD-ROMドライブ

【図3】

